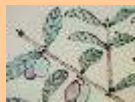


苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

ご無沙汰をすいません。5月の連休にだした6号から瞬く間に10月になってしまいました。たかがNPOなのですが、されどNPOでもありまして、毎週通い詰めると雑務の隙間がない?! (笑い) 直近から近況報告をしますと、9/13-25まで英国とフィンランドのコモンズの事例を見聞してしてきました。8月下旬は在京の会員 ishigaki さんが、大島山林から苫小牧東港のフェリーターミナルまで、地域内のフットパスを単身全部巡りながらウォークアウトするという快挙がありました。それ以前は、もっぱらフットパスなどの刈り払い、その前は薪づくり。その間に「こころの森フォーラム7」と環境教育学会での発表など。環境改善の黒子に徹して、てごたえはしたたかにビッグ。以下にやや詳細をしたためてみます。(事務局：草苺) ホームページ <http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/commons00.html>

【遅ればせ】5月上旬からの活動報告

各行事最後の数字は参加者数

- 5/06 sun 薪片付け(自由参加) 13
- 5/13 sun 薪祭り 2 (薪割りと **メンバーの結婚祝賀会**) 15
- 5/19 sat 薪割り 3
- 5/20 sun 薪割り@大島山林 12
- 5/26 sat **こころの森フォーラムVII** 12
- 6/2 sat 午前＝ハスカップ かんくチュアリの調査地設定、午後＝大島山林 6
- 6/16 sat 小屋のあたりからフットパス刈り始め。3
- 6/24 遠浅町内会有志がシンボルツリーと池周辺の刈り払いと薪かき 4
- 6/30 大島山林フットパスと柏原試験地刈り払い 11
- 7/1 薪のかきかけ 4
- 7/7 sat 柏原フットパスの刈り払いと、小屋刈り払い & **ハスカップ かんくチュアリの看板設置**、自生地のハスカップ 摘み (お試し採取) 4
- 7/15 sun 小屋周辺刈り払い (フットパス、豊川ルート、つた森ルート) 6
- 7/21 sat **ハスカップ摘み** 28
- 7/28 sat 午前＝小屋周辺とつた森ルート、薪割り、オブジェのリフォーム、育林コンペなどの看板 4
→→夜は運営委員会 8
- 8/5 sun 大島山林のフットパス (大島山林池の周りは町内会が済み)、→ **柏原試験地のカシワ林刈り払い**→小屋掃除 (7/28 済み)、小屋周辺林道残り刈り払いが予定。午後、雨のため仕事やめ歓談 5
- 8/11 sat - 8/12 sun お盆休み & 自由活動
- 08/18 sat 柏原試験地残り、小屋から「つた森」ルート、残った林道刈り払い＝試験地集合 5
- 08/25 sat 大島山林の歩くスキコース、ささみちフットパスなど刈り払い 4
- 09/01 sat **日本環境教育学会支部会シンポ** @ウトナイのバニスタ (草苺) & 大島山林と薪割り 1

TOPIC 1

ishigaki 会員、苫東フットパス全踏破!!

勇払原野の1万ヘクタールを特別地区にしたような苫東。そのアズマシイ場所を選りすぐったのが苫東フットパスですが、その全フットパスを歩いてつないで、フェリーに乗って帰京した会員がいらっしゃいます。以下、ishigaki 氏に頼んで書いていただいた踏破後メッセージ。

～～『草苺さま 先日、私の母校苫小牧東高の同期会があり、数十年ぶりに出席しました。群馬県から出かけるにあたって、苫小牧演習林と苫東環境コモンズの活動フィールドを覗いてみたいと思っておりました。



というのも、2年ほど前に全く未経験のままフォレスト群馬21という森林ボランティアNPに入ったもので、興味があったのです。それと、勇払原野、苫東工業地帯の一端を垣間見たいということで、遠浅駅から、新潟までフェリーに乗って帰る苫小牧東

港まで歩いてしまうことにしました。

趣味で中山道などの旧街道を歩いており、数年かけての松前から別海までの北海道南岸の徒歩旅行も踏破してましたので、およそ30Km位の歩行距離と思いますが、可能と思ってました。

当日は、太陽のキラキラ照る暑い日で、自動車道路は日陰が全く無く、結構厳しく応えました。水は途中自販機で補給するつもりで、500cc 1本持参したのですが、全く見つからず、ささみちフットパスにある小屋を眺めながら、最後の1滴を飲み干してしまいました。そのあと、石油基地の守衛所に駆け込んで、何とか分けてもらうことができ、ほっとしたものでした。

見てきた中では、大島山林が一番きれいで心地よかった様に思います。また、遠浅川を渡ってから中に入る細道も、木々に囲まれていい雰囲気でした。苫東展望台は、比高 10mにも満たないような小丘にも拘らず、360度の大展望で素晴らしいものでした。~~~~~

TOPIC 2

ハスカップと環境教育学会

日本で最もまとまって群生しているというハスカップには、本当に遠い将来を見据えた後見人がいないのではないか、と事務局は考えてきたのですが、そんな折の9月1日、日本環境教育学会の勇払原野のワイズユースに関するフォーラムがウトナイの鳥獣保護センターで開催され、事務局・草薙が市民とNPOの代表のパネリストとして発言する機会がありました。



15分にまとめるというのはいつも大変なのですが、「ハスカップには後見人がいない」「知識偏重から五感重視へ」「自然への入り口を大人が示す」などに焦点を絞り、夜の懇親会で「産土(うぶすな)とのつながりと花鳥風月」を話題にしたら、意外や意外、共感者が数名おいででした。

歩きながら、働きながら、環境改善を自らしながら学ぶこと、って結構あります。当NPOもそんなステージを提案していきます。

TOPIC 3

英国フットパスとフィンランド

当NPOが提案するこれからの緑地マネジメント「環境コモンズ」を、英国のコモンズとフットパス、さらに北欧はフィンランドのeveryman's right 万人権と重ねてみようという勉強ツアーを9/13~9/25までしてきました。メンバーは、今年9月に北大公共政策大学院教授となった小磯先生(当NPOの特別会員)と支援会員の関口麻奈美さん(2010/3 マルシェノルドで「自然共生の工業基地、苫東環境コモンズの挑戦

(HP参照)」をレポートした方)と草薙の3名。コモンズに関して静かに関心を寄せてきた3人の個人旅行ですが、近いうちに国内外のいろいろなコモンズの事例をまとめたいと考えています。

英国では領主の囲い込みから市民がアクセス権をもぎ取り法制化したり歩く権利を所有者に認めさせたりと、日本とはちょっと違う足取りですが、その歩く権利の団体「ランブラーズ協会」にヒアリングし、定例のウォーキングにも飛び入り参加してきました。(写真↓)



フィンランドのeveryman's right は北海道のゆるい土地所有とそっくりで、しかも法律はありません。人口密度が極端に低いと、自由に採っていいと言う風になるのは当然かもしれないわけで、ヘルシンキ大学の法学研究者が私たちのために開いてくれたゼミでは、苫東環境コモンズにとっても興味が集まりました。過大広告のようで面はゆいなのですが、そんな案配でした。

編集後記

夏の刈り払いには昨年より人が増え、inaba, Oyama, nakatu, abe, tuduki, kaiの各氏に瀧澤グループが加わり、遠浅町内会の出番も昨年より多かったみたいです。いろいろ夏冬の高価な機材も拡充する必要に駆られたため、25年度用に森づくりの助成制度に申請しました。

育林コンペの第2ラウンドも再会するので、この秋からは、ツル切り除伐から一歩進んだ保育目指して伐採届けをだして間伐体制をとることにしました。

視察のお客様は今週末に当別町の森づくりボランティア「シラカンバ」さん、10月上旬は東大演習林グループ7名が「コモンズと森林セラピーとフットパス」についてヒアリングに来ます。11月はきたネットが主催する森づくりフォーラムがあるようです。

林と木とともにある持続可能なコミュニティ形成。テーマはいっぱい転がっています。Step by Step!で参ります。(事務局)

お問い合わせ

NPO法人苫東環境コモンズ 事務局

草薙 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765